



期待と希望を胸に抱き

入園・入学の春



4月4日、村内保育園で入園式が行われ、新たに42人の子どもたちが入園しました。

下関保育園には、33人の子どもたちが入園。保護者と一緒に笑顔いっぱい初登園の日を迎えました。年長児から「一緒に散歩に行きましょう。元気に保育園に来てください。みんなで待っています」と歓迎された新入園児。たくさんの友達に囲まれながら、毎日元気に過ごしています。



下関保育園入園式



関川小学校入学式

桜の開花を間近に控えた4月8日、関川小学校で入学式が行われ、今年は30人の児童が入学しました。

在校生や先生たちから温かい拍手で迎えられ入場した新1年生を、6年生の代表児童が「分らないことがあったらいつでも相談してください。これから一緒に仲良く登校しましょう」と歓迎。

少し緊張気味でしたが、しっかりとあいさつや返事のできる立派な新1年生でした。



関川中学校入学式

また、この日は関川中学校で記念すべき10回目の入学式が行われ、47人の新入生が入学しました。

式では、生徒会長の津野莉来さん（3年・高瀬）が「期待と不安でいっぱいかもしれませんが、一緒に新たな伝統を築き上げていきましょう」と歓迎。新入生を代表して小田桜生さん（下川口）が「たくさんの行事を成功させられるよう頑張っていきたい」と誓いの言葉を述べました。

村の方言わかるかな？

近 美千代さん(幾地) 遊び心満載のおもしろかるた製作中



村の言葉にもっと親しんでほしい……こんな願いを込めて、近美千代さんは村の方言を使ったおもしろかるたの製作に取り組んでいます。その名も「関川むらことば(笑)かるたかあちゃん遊ばで！(仮称)」。

もともと村の方言に興味があり、書き溜めていたものを作るたにしようと、一昨年からかるたづくりがスタートしました。読み札は近さんが考え、絵札は近さんの友人でイラストレーターのおたまこさん（三条市）が担当。方言を使い、村の日常やふるさとを感じる季節の風景がユーモ

アたっぶりのイラストで描かれている遊び心満載のかるたで、子どもから高齢者まで幅広い年代で楽しめる内容となっています。

近さんは「読み札には英語訳もついているので、中・高校生にとって、おもしろ味があると思います。学校や老人施設でのレクリエーションなどでも使ってほしい。方言で村が盛り上がれば嬉しい」と完成を心待ちにしていました。

むらことばかるたは、今年の夏までには完成し、販売も行う予定です。

キラリと光る村づくりを参考にしようと、4月17日、鹿児島県東串良町議会の議員12人が視察研修のため来村しました。東串良町は、人口約7,000人の町で、財政規模は当村とほぼ同じ。平成の大合併には参加せず、自立のまちづくりを進めています。

当日は、渡邊邸や道の駅周辺を視察後、役場内で村議会議員や村職員と研修会を実施。研修会では、村職員が村おこしの目玉「大したもん蛇まつり」ができた経緯のほか、「コミュニティ組織への活動支援、若者向け住宅の整備、教

育スクウェアICT事業などについて説明。また、健康づくりの取り組みについても紹介しました。中でも、村民の自由な発想や提案を村づくりに活かそうと始まったキラリと光る地域活性化事業の説明に、東串良町の議員は熱心に耳を傾けていました。

東串良町議会の田之畑稔議長は「地域づくりは、行政と住民が一体でなければならぬ。村民の提案を村づくりに活かしている関川村に感じました。関川村の多様な村づくりを今後活かしていきたい」と話していました。

## 魅力あるまちづくりとは？

ひがしくしらちょう  
鹿児島県東串良町議会が  
視察に来村



## 地域の安心安全を守るため 今年度の活動がスタート ～村消防団辞令交付式～

4月6日、ふれあいど～むを会場に村消防団の辞令交付式が行われ、幹部や新任団員など約100人が参加しました。

式では、平田均団長（下関）が、新任団員31人を含む80人に辞令を交付。「4月から消防団組織が一部改編されたが、各隊の消防団活動に協力していただきたい」と激励しました。

式終了後には、規律訓練や車載無線交信訓練を実施。また、村上市消防関川分署員によるポンプ操法講習会も行われ、団員はその説明を熱心に聞いていました。

**春季消防演習・ポンプ操法競技会は  
5月18日(日)・ふれあいど～むを会場に行われます。  
熱い声援をお願いします!**



## 106人の団員で元気にスタート 村スポーツ少年団入団式

平成26年度スポーツ少年団入団式が、4月6日、村民会館大ホールを会場に行われ、団員や保護者など約150人が参加しました。

式では、船山勝雄本部長（勝蔵）が「関川小学校の約半数の児童はスポーツ少年団に加入していない。一人でも多くの仲間を増やすよう呼びかけてほしい」と挨拶。

また、団員を代表して、ミニバスケットボール部に所属している沢田涼輔くん（6年・大島）が「スポーツを通じ健全な体と心を養い、支えてくださっている人たちに対して感謝の気持ちを忘れず、日々頑張っていきたい」と誓いの言葉を述べました。

今年度は新たに22人の子どもたちが入団。7種目、総勢106人の子どもたちが夢に向かって元気いっぱい活動しています。